

「時代病としての耳管開放症」

～アントロポゾフィー医学から聴覚と耳の神秘に迫る～

聴覚器官は、感覚器の中でも最も霊的な器官と言われます。
今回は、その耳について次の3つの視点でお話します。

- ①全身と耳の3分節の視点
- ②耳管、中耳、乳突洞を呼吸器官の一部として理解する視点
- ③耳管開放症を『人生の危機と人間的成長』との関連で理解する視点

その上で、音楽療法が有効であった耳管開放症の症例を紹介し治療的アプローチの可能性を示します。(堀 雅明)



堀 雅明(ほり まさあき)

医師 1956年生まれ。ほりクリニック院長。耳鼻咽喉科専門医。アントロポゾフィー医学(国際)認定医。西洋医学的な診断と治療を前提としつつ、ライフスタイル全般を考慮したアドバイスを交えた診療を進めている。音楽療法、オイリュトミー療法、アインライビング、アートセラピーなどチームアプローチのもとでアントロポゾフィー医学を実践している。

2018年6月3日 [日曜日] 10:00～16:00

会場 | 大倉山記念館 ホール

参加費 | 3,500円

(本講座の主催・後援団体の会員は 3,000円)

定員 | 50名(申込先着順)

申込締め切り | 5月25日 [金]

この講座は、アントロポゾフィー芸術療法を学ぼうとする方々、関心のある方々のために、オーディオパーデ/シュタイナー音楽療法研究会が開催しています。
午後は音楽療法の研究及び症例についてディスカッションをしていきます。
どなたでもご参加いただけます。学ぶ志をもった方のご参加を歓迎いたします。

▶ 10:00～ 医学講義

- ◎「時代病としての耳管開放症」～アントロポゾフィー医学から聴覚と耳の神秘に迫る～
講師 | 堀 雅明(耳鼻咽喉科専門医)

▶ 13:30～ 症例検討

- ◎「耳管開放症のAさんへの音楽療法」
..... 川村 真理子(アントロポゾフィー音楽療法士)

人は社会との接点が増えると様々なストレスに見舞われます。その結果、精神疾患を抱えたり、身体に不調をきたすといった症状が現れる場合があります。今回は耳管開放症の症例を通して、音楽療法の立場からどのようなサポートが可能なのかを考えていきたいと思ひます。

▶ 15:00～ 音楽体験

- ◎「楽器の体験」
..... 前平 加代子(アントロポゾフィー音楽療法士)

音楽療法では患者さんの呼吸へ働きかける楽器のひとつとしてライアーという楽器を使用します。今回症例の中でも使われていたその楽器の響きを聴くことや弾いてみることで、どのように作用するかを体験してみます。

「時代病としての耳管開放症」

～アントロポゾフィー医学から聴覚と耳の神秘に迫る～

講師 | 堀 雅明 (耳鼻咽喉科専門医)

2018年6月3日 [日] 10:00～16:00

会場 | 大倉山記念館 ホール

▶ 参加費

3,500円 (本講座の主催・後援団体の会員は 3,000円)

▶ 定員 | 50名 (申込先着順)

▶ 申込締め切り | 5月25日 [金]

▶ 申込み

住所・氏名・電話番号・一般または本講座の主催・後援団体の会員であることを記載して、一般社団法人アウディオペーデ事務局までご連絡ください。間違いを避けるためにできるだけメールかFAXにてお申し込みのうえ、ご入金をお願いいたします。いずれの方法も難しい方のみ電話にてお受けし、折り返しご案内いたします。なお、入金の確認をもって申し込みといたします。入金後の返金はできませんが、代理参加は可能です。

▶ 支払い方法

- ① ゆうちよからの振り込み 記号：00220-2 番号：101127
- ② 他銀行からの振り込み ゆうちよ銀行 店番：0二九(ゼロニイキュウ)
当座預金 口座番号：0101127
口座名義：一般社団法人アウディオペーデ

▶ 問い合わせ

一般社団法人アウディオペーデ事務局
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 3-30-5
Tel.046-240-9117 Fax 046-240-9118
e-mail : audio-pd@nifty.com
HP : <http://audio-pade.com/>

▶ 主催

一般社団法人アウディオペーデ シュタイナー音楽療法研究会

▶ 後援

アントロポゾフィー音楽療法士の会
一般社団法人 日本アントロポゾフィー医学の医師会
一般社団法人日本シュタイナー幼児教育協会
NPO法人日本ホリスティック医学協会
教育・芸術・医療でつなぐ会

▶ 協力

大倉山記念館
大倉山記念館は、大倉邦彦(1882-1971)により昭和7年(1932)「大倉精神文化研究所」の本館として創建されました。設計は、古典主義建築の第一人者、長野宇平治(1867-1937)です。東西文化が溶け合った独特の様式美を持つこの建造物は、昭和56年(1981)横浜市が寄贈を受け、平成3年(1991)には横浜市指定有形文化財に指定されました。(HPより抜粋)

6月3日の講座は
日本音楽療法学会の認定を
得て、参加証の発行を
しています。

次回案内

今年度も大倉山記念館において
以下の日程で開催を予定しております。

2018年12月2日 [日]

2019年2月3日 [日]

大倉山記念館



大倉山記念館

〒222-0037
横浜市港北区大倉山二丁目10番1号
TEL : 045-544-1881
FAX : 045-544-1084
開館時間 : 9:00～22:00

◎ 電車でお越しの方へ

東急東横線「大倉山駅」より徒歩7分
(駅とKFCの間の坂道を渋谷方向に上る)

◎ 車をご利用の方

一般駐車場はございません。